

【シリーズSDGs ④】身近なところからSDGsの取組をしましょう。

ゴール4「質の高い教育をみんなに」



SDGsゴール4は「質の高い教育をみんなに」を目標としています。

世界では、目の前の貧困や飢餓、紛争などのため十分な教育を受けられず、読み書きができないまま大人になる人が7億人を超えると言われています。教育を受けられないことで、安定した仕事に就けず、貧困から抜け出せないという状況も見られます。また、地域によっては、女性への教育の機会が与えられていないこともあるようです。

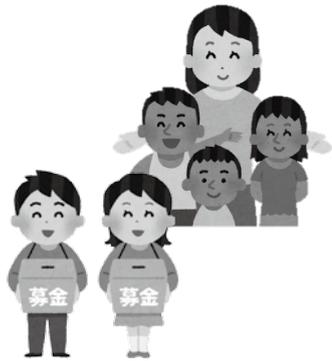
一方、日本では、小学校から中学校までの9年間は義務教育で、すべての子どもたちが教育を受けることができます。しかし、日本でも学校教育に限らず、インターネットにアクセスできる環境があるかどうかで、様々な世界や知識にふれる機会の差が生まれていることなど「質の高い教育をみんなに」は私たちと無関係なことではありませぬ。

○行政の役割としては

すべての人々へいきわたるよう、公平な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。

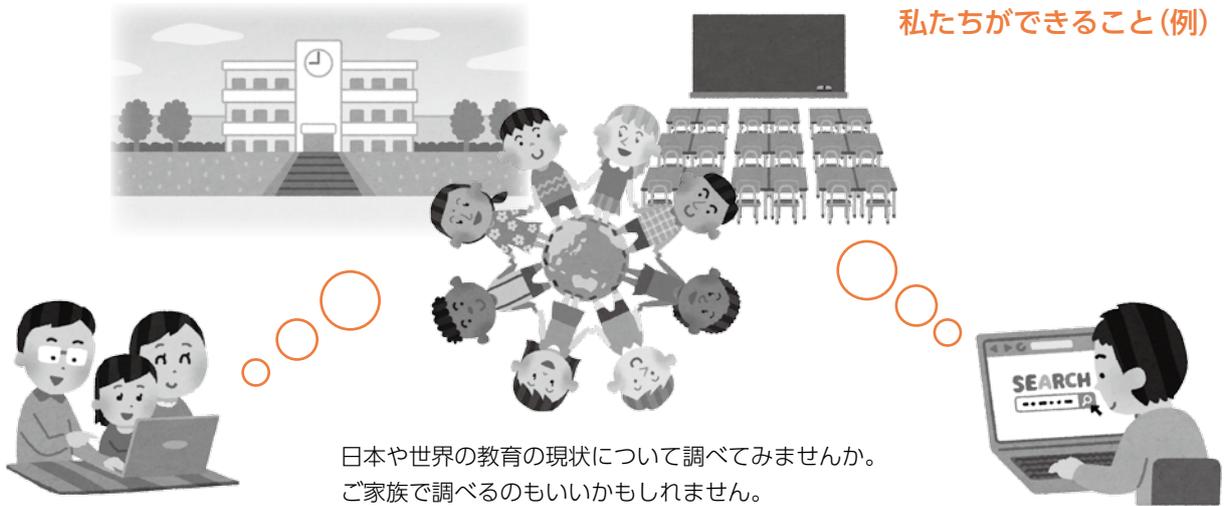
○私たちができること(例)

- ・学校だけでなく、家庭や地域などでも学ぶ機会を増やす。
- ・世界や日本の教育の現状に関心を持つ。
- ・学習支援ボランティアや募金へ参加する。



2030年までの国際的な目標の実現に向け意識をして実践しましょう。

私たちができること(例)



日本や世界の教育の現状について調べてみませんか。ご家族で調べるのもいいかもしれません。

目標達成のためのターゲット

- 2030年までに、すべての子どもが男女の区別なく、しっかり学ぶことのできる公平で質の高い教育を無料で受け、小学校から中学校までを卒業できるようにする。
- 2030年までに、教育を受けるすべての人が、持続可能な社会をつくっていくために必要な知識や技術を身につけられるようにする。そのために例えば、持続可能な社会をつくるための教育や、持続可能な生活の仕方、人権や男女の平等、世界市民としての意識、様々な文化があることなどを理解できる教育を進める。SDGsゴール4「質の高い教育をみんなに」では、上記のようなターゲットを10個掲げ、目標達成に向けて取り組みを進めていきます。

※公益財団法人 日本ユニセフ協会HP引用

問 企画商工観光課 企画・SDGs推進班 ☎(72)1151